

インナーハウス プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ) タカチホダイガク	フリガナ) ニングンカガクブ	フリガナ) サコ
高千穂大学	人間科学部	迫ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) フテキフジョハン	フリガナ) シマワキ リョウヤ			
公的扶助班	嶋脇 凌弥	1	無	

※当日使用するPC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

無し

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただいております。

研究テーマ（発表タイトル）

公的扶助について

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

生活保護は生活困窮者のみならず、疾病、老化などで誰しがが受けける可能性をもつため、知識を深めておくことは将来のリスクを減らす意味で非常に重要であると考えた。

公的扶助の中でも特に重要だと考えた教育扶助に視点を置き、研究の成果を発表する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

まず、厚労省のデータを見ると生活保護の受給者数は年金の引き上げ等により近年減りつつあるが、根本的解決には至っていないことがわかる。

生活保護についての問題は、不正受給や受給しているが故のステigmaを抱えることなど数多くあるが何よりも問題なのは、生活保護の受給世帯がそこから抜け出せないことにあると考えた。

3. 研究テーマの課題

公的扶助の中でも特に教育扶助を研究していく中で、生活保護受給世帯の若者はいかにして生活保護から脱却し、納税をしたりして社会に貢献できる人材を増やしていくかを考察していくことが課題となった。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

生活保護受給世帯の若者は他の世帯に比べて学歴が低い傾向にあるため、まず学歴が違うことによる年収の格差を示し、学校に通い続けることの重要性を親や学校を通じ十分に伝える必要がある。

それでも中退をせざるを得ない状況に陥ってしまった場合は役に立つ社会サービス等を教える。

高校卒業までの諸費用を税金で貯うなど。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

6. 結果や今後の取り組み

この研究を通じ今まで何となく知ってはいたが深く知ろうとしなかった生活保護の制度について深く考える機会となった。

家族が生活保護を受けているが、アルバイトと学業を両方こなそうとして学校生活がおろそかになってしまっている学生や社会的に弱い立場にある人の力になりたいと考えられるようになった。

今後は教育扶助のみならず、更に深く公的扶助や社会保障のサービスについて学び、自分も社会にとって有用である人物へと成長していきたい。

7. 参考文献

林 明子,生活保護世帯に育つ子供の中卒後の移行経験に関する研究（閲覧 2019/9/10）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/eds/95/0/95_5/_pdf/-char/ja

学校における貧困の表れとその不可視化 —生活保護世帯出身生徒の学校生活を事例に—（閲覧 2019/9/2）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/eds/88/0/88_273/_pdf/-char/ja

厚労省 国民生活基礎調査（閲覧 2019/9/2）

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa17/index.html>

内閣府 子供の貧困に対する指標の推移（閲覧 2019/9/10）

https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/yuushikisya/k_4/pdf/s1.pdf

ユースフル労働統計（閲覧 2019/8/17）

<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/2018/index.html>

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナーハウス終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナル関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください